

市指定文化財<彫刻>

あんこくじ どうみょうぞう
安国寺東明像

指定日 昭和42年3月24日

所在地 菊池市泗水町豊水 安国寺



延慶^{えんぎょう}2年(1309)鎌倉幕府第9代執権北条貞時の招きにより、中国^{せつこうしょう}浙江省から来日した曹洞宗の禅僧である。東明^{とうみょうえにち}慧日といい、「とうみん」ともいう。

元応年中(1319～21)全国行脚の途中、住吉天応寺に^{たいりゅう}滞留して、久米村に^{せいげんざんじゆしよ}青原山寿勝寺を建立した。日本禅宗東明派の祖と称され、臨済宗一色の鎌倉に在って、曹洞宗旨の普及に努めた名僧である。生没年は文永9年(1272)～興国元年(1340)、鎌倉建長寺で没した。享年69歳。

像は木彫りの^{よせぎ}寄木造りと思われ縦が約90cm、幅が約60cmの坐像で、制作年は不詳。久米原の戦い(永正6・1509年)の前か後かを決め得る資料がない。